

武蔵野フリース市民活動フロア 意見交換の場 市民活動フロアを考える 市民ワークショップだより

武蔵野市教育委員会
武蔵野プレイス開設準備室
電話番号:0422-60-1943
FAX 番号:0422-51-9172

発行: 武蔵野プレイス開設準備室
編集: 武蔵野プレイス市民活動フロア
市民ワークショップ実行準備会
※平成 22 年 4 月 5 日発行: 第 1 号

ワークショップ……本来は、「作業場」「工房」を意味する言葉。日本では「体験型講座」を指す用語で、問題解決や合意形成の手法としてつかわれています。市民活動フロアに関する検討を、この手法を使って進めています。

市民活動フロアのワークショップがスタート！

平成 23 年 7 月に、武蔵境駅南口にオープン予定の「ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス(以下、武蔵野プレイス)」は、図書館、青少年活動支援、生涯学習支援、そして市民活動支援の 4 つの機能を併せ持つ複合機能施設です。このうち市民活動支援機能について、武蔵野プレイスの 3 階に、NPO をはじめとする市民活動団体のためのスペースや、市民活動に関する相談・情報提供などを行うことを目的とした、市民活動フロアが整備される予定です。

市民の使いやすい施設、市民活動を活性化する機能などを、市民目線で考える場をつくらうと、武蔵野プレイス開設準備室の呼びかけによって、市民活動フロアについて検討するワークショップが今年の 10 月からスタートしました。現在までに計 3 回開催。このワークショップは今年の 10 月頃まで、全 10 回の開催予定です。様々な年齢や立場の人たちが集まり、創り上げていくワークショップに参加してみませんか！

市民ワークショップ実行準備会をつきました

第 1 回市民ワークショップの参加者からの提案で、「市民ワークショップ実行準備会」が立ち上がりました。市民ワークショップの運営について、開設準備室と共に進めています。また、「もっとたくさんの人に武蔵野プレイスや市民ワークショップについて、関心を持ってもらいたい」という思いから、このニュースレターも実行準備会が編集しています。

第 3 回 市民ワークショップの様子

平成 22 年 2 月 23 日(火) 18 時半～20 時半 武蔵野スイングビル 10F スカイルーム(1～3)にて開催

昨年、12 月に行われた第 2 回市民ワークショップでは「市民活動フロアに望むこと」を自由に書き出して整理しました。(詳細は裏面をご覧ください)また、その後開催した実行準備会の集まりにおいて、それらを「情報」「交流・居場所」「相談」「環境」「まちづくり・市関連」に分類しました。

2 月に行われた第 3 回市民ワークショップでは、それらの中から「情報」を取り上げ、市民活動フロアにおける情報収集や団体の情報発信・開示などについて、どのような取り組みが必要か、またその方法を 7 グループに分かれ、書き出しました。この日は、武蔵野三鷹ケーブルテレビのカメラが入り撮影をしていましたが、カメラの存在を気にすることなく、皆さん真剣に考え、意見を出し合い、発表していました。

第 3 回市民ワークショップの様子は武蔵野三鷹ケーブルテレビで視聴することができます。

(<http://www.city.musashino.lg.jp/citynews/index.html> 平成 22 年 3 月 1 日分をご覧ください)





他グループの発表を聞く参加者



このグループはメンバー全員が出て発表！



自分が関わっている団体パンフレットやイベントチラシを置くスペースが、ワークショップ会場にはあります。参加者同士の新しい出会い・交流が生まれます。

参加してみていかがでしたか？

今回私は第3回目のワークショップからの参加だったのですが、頭でそこまで難しく考えることなく、一人の市民、また大学生として素直に思った意見・考えを発信することができました。武蔵野プレイスの可能性がこのワークショップから広がっていくのだと考えると、とてもワクワクしています。(20代・男性)

第4回 市民活動フロア ワークショップ

誰もが参加できる市民ワークショップです。

日時: 4月15日(木) 18時半~20時半

会場: 武蔵境駅北口スイングビル 10階スカイルーム

申込み方法: お名前・所属(もしございましたら)、住所、電話、メールアドレス、参加動機を明記の上、FAXまたはメールで武蔵野プレイス開設準備室まで。

(FAX) 0422-51-9172

(e-mail) sec-place@city.musashino.lg.jp

市民ワークショップの流れは

武蔵野市のホームページ(HP)を見てね

武蔵野市HPのトップページ下にある市民活動をクリック→武蔵野プレイスをクリック→イベントに、第1回・第2回の市民ワークショップ実施報告書が載っています。また、市役所8階 東棟の武蔵野プレイス開設準備室に来ていただくと、実施報告書を手に入れることができます。

インターネットでどうしても見てみたいけれど、やり方がわからない・・・という方は、武蔵野プレイス開設準備室までご相談ください。

武蔵野市 HP アドレス

<http://www.city.musashino.lg.jp/index.html>

アドレス入力が面倒な場合は yahoo!などの検索サイトから武蔵野市と入力すると、武蔵野市に関連したHPが出てきます。



次ページからは、第1回・第2回のワークショップの様子および、ワークショップ参加者有志で訪問した、他市の市民活動支援施設の視察の様子について書いてあります。どうぞご覧ください！

編集後記 市民ワークショップに参加をすると、そもそも、市民活動ってなんだろう？という疑問にぶち当たる。私たち一人ひとりの困った！って気持ちが、仲間を募り、周りを、社会を変えていく。その楽しさを少しでも多くの人に感じてほしいなあと思う。ワークショップも出会い、発見があって面白いですよ。(H.A)

武蔵野プレイス市民活動フロア 市民ワークショップ

第1回・第2回の様子

第1回：平成21年10月29日(木) 18:30-20:30 武蔵野スイングビル スカイルーム1.2

第1回ワークショップは、38名の市民の参加によって開催されました。

これから、平成22年秋頃までの間に連続開催される本ワークショップは、プレイス3Fに出来るNPOやボランティア活動の支援のためのフロアの使い勝手や、出来ること、やりたいことを話し合うものです。このワークショップおよび武蔵野プレイスの概要について説明を行った後、参加者同士でワークショップや市民活動への想いを交流しあいました。



▲ ワークショップのアドバイザーを務めてくださる、東京ボランティア・市民活動センターの高山和久さんです。



▲ 導入アクティビティでは、ワークショップへの参加動機および、それぞれの考える市民活動の魅力について交流しました。

- たかやまかずひさ 高山和久さん：東京ボランティア・市民活動センター統括主任。センターでは災害ボランティア支援事業、民間助成金申請に関する相談・情報提供を担当するほか、調布市・国立市・昭島市などの市民活動センターの運営委員をつとめるなど、地域の市民活動推進機関に対するアドバイスを行っている。
(東京ボランティア・市民活動センターのホームページ：<http://www.tvac.or.jp>)

第2回：平成21年12月15日(火) 18:30-20:30 武蔵野スイングビル スカイルーム1~3

第2回は、27名の参加によって開催されました。

第2回ワークショップ開催に先立って、他市の市民活動支援センターの視察を実施し、その報告を行いました。(視察に関するレポートは後述)

その後、この日のアクティビティとして、「市民活動フロアで出来そうなこと、やりたいことを出し合おう！」と題し、思いついたアイデアをポストイットに記入し、模造紙に貼り付けてゆきました。アイデアは、同じ傾向のものをグループに整理し、特に盛り上がった話題について発表していただきました。

またこの日、このワークショップの運営を事務局・市民が共に創り上げる「ワークショップ実行準備会」の呼びかけが行われ、11名の有志の方に応じていただきました。(のちに増え、現勢16名)



▲ 市民活動フロアでやりたいこと、出来そうなことを、ポストイットに書いてゆき…



▲ これだけたくさんアイデアが出されました！



市民活動関連施設への訪問も行いました！

さいたま市市民活動サポートセンター(さいたま市):平成21年11月23日(祝)

浦和駅東口、浦和パルコ 9 階に 2007 年オープン。NPO 法人さいたま NPO センターが、さいたま市と協働管理運営をしているセンターです。

フリースペースを区分に分け、市民活動団体専用スペースと、自習利用の可能なスペースに分けたり、メールボックスに私書箱機能をつけたりと、事前のワークショップ及び市民の利用状況から、設備にも工夫を凝らしています。視察には 3 名の市民が参加。



▲ ボランティア情報は、1 枚ずつ剥がして持ち帰りが出来るようになっていました。



▲ センター長から説明を受ける参加者。このセンターもまた、ワークショップでさまざまな意見が交わされ、開設にこぎつきました。

市民活動センターたちかわ(立川市):平成21年11月27日(金)

それまで存在した、社会福祉協議会の運営するボランティアセンターが、市民の多様な相談に応じてゆく中、福祉を超えて幅広い地域課題・社会課題に応じていこうと、「市民活動センター」に改称。「私たちに関係のない市民や相談はない」と、相談からさまざまな社会課題を汲み取り、日々ニーズに応じています。

視察には 17 名の市民が参加。



▲ 相談から生まれる事業や団体・個人支援のあり方、また運営委員会による運営の仕組みなど、スタッフにお話いただきました。



▲ 市民活動を身近に感じてもらうと、市民活動に関わる市民が講師となり、活動に関することをテーマにした講座を主催。上の写真の色紙は、その講師が書いたもの。

調布市市民フラザあくろす 市民活動支援センター(調布市):平成22年1月13日(水)

「まちの『えんがわ』になりたい」というキャッチフレーズを掲げ、2005 年にオープン。目を惹くのはフリースペース中央にある「えんがわセット」。フリースペースやパソコンは、調布市民以外でも、受付にて無料で利用申込みができます。

市民の多様なニーズを汲み取りつつ、多くの市民に関心を持ってもらうため、スタッフのアイデアや調布の地域資源を活用した、独創性の高いユニークな事業を多く展開。

視察には 11 名の市民が参加。



▲ センター開設 1 周年イベントのステージとして設置された「えんがわセット」は、その後常設に。ここを打ち合わせに使ったり、ゴロンと横になったりすることができる。



▲ 余ったメールボックスを活用して、市民活動をするためのヒントを広報、イベント企画、市内施設情報などといったジャンルに分けて提供。

